

地方も変革のとき



富士見町議会議長

植松 米作

新年を迎えられた町民の皆様、心からお喜び申し上げます。

昨年12月の六市町村合併の住民投票に際しましては皆様、この高原の町を愛し、子供や子孫達の将来を真剣に考えて参加をして頂き、投票率67%に達したことは、筆舌に尽くし難い感動で一杯でした。衷心よりお礼申し上げます。

さて、これから未曾有の少子高齢化社会を迎えるとなれば、年金・医療・介護・雇用保険等の社会保障制度の仕組み、更には税制改革等による「将来の負担増」等が大きな課題となります。今、国も地方も改革の時です。

バブル時からのダブルダブの背広を脱ぎすて、身の丈に合った背広に着替えて、足腰を強くして、皆で前向きに頑張ります。

地方分権時代に入り、真の住民自治確立に向けて、住民主体となり、行政にお任せや依存のまちづくりでなく、議会も、政策や条例等積極的に提言する立法的機能を生かし活動を進めて参りたいと思いますので、皆様の格段のご協力をお願いいたします。本年が皆様に良い年となりますよう心から御祈念申し上げます。

反対総数 5,790票 (67.36%)

賛成総数 2,805票 (32.64%)

- 投票資格者数 12,924票
- 投票者数 8,688票
- 有効投票数 8,595票
- 投票率 67.22%

去る12月7日(日)執行された「富士見町の合併についての意思を問う住民投票」は次のような結果となりました。

住民投票の結果をうけて・・・町長は



住民投票の結果が示されたが「住民の2/3以上の意思を占めた場合は条例を尊重する」とある。したがって法定協議会へ進む提案はしない。任意合併協議会についても、一定の手続きを経て脱会をしてゆく。国、町の厳しい財政状況は変わらない。

町は数々の行政課題に対し、どのように町民に対し示してゆくか、そのために行政改革を精査し政策的経費を求めて行く。今は、行政サービスを低下させないように身を削ってゆく、まずそれから始めたい。(12/8談)

議会議員活動状況・予定

11/6～9

海外産業視察(中国・上海)

諏訪広域連合議会視察

福祉運営委員会

教育懇談会

小諸市議会来町